

いわなの里のグラフィックツール

グラフィック分野 北本ゼミ A2201701 石山 蓮

研究の背景

福島県只見町にある釣り堀「いわなの里」は、綺麗な水で育った活きのいいイワナやヤマメを釣ることができ、その場で食べることもできる釣り堀である。釣り好きの家族連れやライダーの人たちが多く訪れ、2010 年まで月 3000 人の来場数があった。しかし 2011 年7月に、新潟・福島豪雨の被害を受け、5年間営業できなかった。現在は仮営業を行いながら、今年8月の再オープンに向け復旧作業を進めている。しかし、来場者数は月 1000 人まで減少しており、原因として営業を再開していることがあまり認知されていないことが分かった。また新規の来場者を呼び込む際に客層の大半を占める釣り好きの家族やライダーに、自然に囲まれて育った活きのいい魚がいることや、釣り以外にも楽しめる施設ということが最大限に伝わっていないことが挙げられる。そこで、魚や自然を連想できるグラフィックツールを制作し、いわなの里の雰囲気伝える。

研究の目的

本研究ではロゴ・ポスター・パンフレット・イワナの唐揚げ用パッケージ・ステッカーの5つを提案する。これらを制作することにより、知名度向上のきっかけになるのではないかと考える。また全体に統一感を持たせたデザインにすることにより、各ツールを一目見ただけでいわなの里だと認知することが可能になる。これまでの調査で、いわなの里の広報物は目に留まらず、内容が理解しにくいといった結果が得られた。このことから、いわなの里のイメージを分かりやすく伝え、訪れたいと思わせるデザインを考える。これにより、美しい川や山々に囲まれた施設であることを表現できる。さらに、魚や自然を感じられるデザインになるよう各ツールを制作する。記載する内容も釣りだけでなく食事やいわなの炭焼きやわた取り体験などといった項目を追加し、最大限にいわなの里のことを知ってもらうことが可能になる。

研究のプロセス

●前期

- ・いわなの里の現状調査、必要なグラフィックツールの検討
- ・素材収集および取材(1回)

●夏季休業中

- ・ロゴの試作品を 14 点制作
- ・ロゴ制作のため、いわなの里にいる来場者や、従業員、会津若松市民を対象とした取材、アンケート調査(3回)

●後期

- ・取材およびアンケート結果を踏まえロゴを 12 点制作
- ・いわなの里の来場者や従業員、会津若松市民を対象としたロゴの最終アンケート
- ・素材収集および取材(2回)
- ・各グラフィックツールの制作
- ・オーナーから意見を聞き、最終成果物にフィードバック



ロゴの最終アンケート(10月)



レッドバロン会津若松での取材(12月)

成果物(完成作品)

●ロゴ … 【制作数】1点

釣り堀らしさや施設の名称に因み、いわなの里を連想できるようにイワナの形状にした。全体的に丸みを帯びており、親しみやすいロゴになるよう構成した。水色や橙色は、只見の綺麗な水といわなの里の活気を意味している。黄色の斑点は木々から降り注ぐ木漏れ日や、今後のいわなの里の発展を意味している。ロゴタイプは、線の終わりや角を丸くすることで、やわらかい印象を与えられるようにした。

●ポスター … 【制作数】5点 【サイズ】728×515mm

いわなの里に訪れる人たち全員が笑顔で楽しめる施設であることを伝えるため、活きのいい魚を釣り上げたり、魚を食べようとしている時など、さまざまな表情の写真を多く用いた。またすべてのポスターに自然を感じられる色彩を用い、異なる構成でもつながりが感じられるデザインにした。

●パンフレット … 【制作数】1点 【折り方】巻き三つ折り 【展開サイズ】297×210mm

表紙は水面を泳ぐイワナで構成し、只見の自然の美しさを感じられるデザインにした。中面は、楽しんでいる来場者の様子を掲載した。背景や写真を水紋の形にし、表紙との繋がりを持たせ、のびのびと釣りをしたり、おいしい食事、貴重な体験ができる施設であることを伝えられる。

●唐揚げ用パッケージ … 【制作数】2点 【サイズ】170×230×100mm

イワナの唐揚げの持ち帰り用パッケージをデザインした。1つは子供向けに制作し、全体がイワナの形に見えるよう構成した。箱を開けた際にイワナの口が開き、遊び心を感じられるデザインにした。もう1つは幅広い客層向けに制作した。寄り添うイワナは家族や友人を表し、温かさを感じられるデザインにした。

●ステッカー … 【制作数】12点

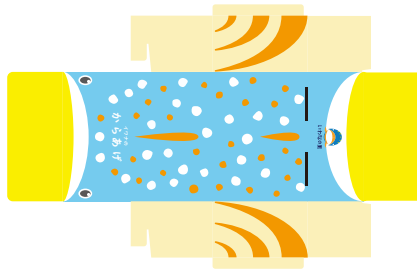
いわなの里らしさを色や形で表現しながら、バイクのステッカーに適したデザインにした。ロゴや文字、柄、イワナのシルエットを用いた。数種類のステッカーを考え、来場者のバイクにあったデザインを選べるよう制作した。



ロゴ



ポスター(制作途中)



子供向け唐揚げ用パッケージ(制作途中)



ステッカー

考察

本研究を通して、グラフィックツールの配色や形状に関連性を持たせたことにより、全体で見たときに統一感が生まれ、より知名度向上に繋がられるものになったのではないかと考える。いわなの里の特徴である美しい自然や、来場客の活動的な様子を表現することに苦戦したが、試行錯誤を繰り返し、イメージを視覚化できた。そして自分のデザインをいわなの里の方々に見てもらった際、いわなの里が伝えたかった活気や、魚の活きの良さが伝わってくるデザインだという評価を得られた。また、いわなの里に訪れていた人の意見だけでなく、さまざまな方の意見を聞き入れる柔軟性が大切であることを学んだ。このことから、自分のアイデアだけにとらわれず、視野を広げるため調査やアンケートにも力を入れ、表現の幅を広げる重要性を感じた。